



SUZUKA

2026 AUTOBACS SUPER GT Round 05

2026 SUPER GT 第5戦 鈴鹿サーキット
8月22日(土)～23日(日)

PRACTICE 公式練習

8月22日(土) 天候：晴れ/路面：ドライ

第4戦富士では鈴木斗輝哉がレース序盤に素晴らしい追い上げをみせ、終盤には石浦宏明がベテランらしいテクニックを駆使。チーム全員の力を合わせ、嬉しい2位表彰台を獲得することができた TEAM ENEOS ROOKIE。この勢いを繋げるべく、チームは3週間のインターバルで迎えた第5戦鈴鹿に臨んだ。

走行初日となった8月22日(土)の鈴鹿サーキットは非常に蒸し暑く、午前9時45分からスタートした公式練習は、気温31度/路面温度37度というコンディション。残暑が厳しいなかで始まった。

ENEOS X PRIME AMG GT3は、石浦がステアリングを握りコースインすると、4周目にまずは2分00秒305というタイムを記録するが、第4戦富士で2位表彰台を得たことでサクセスウエイトが大きく増えており、今回は60kgという数値となっている。

実際に搭載するのは50kgで、残りはサクセス給油リストラクターで代用されるとはいえ、やはり重い。「こんなに重いのか、と感じましたね」と石浦も苦笑いだ。

石浦から交代した鈴木は、コースイン直後から二度の赤旗中断を挟んだが、一度ピットに戻った後、ロングランをトライ。12周を走り、ふたたび石浦に交代した。「鈴鹿サーキットは今季、西コースが新しい舗装になっているのですが、持ち込んだタイヤとのマッチングもいまひとつでした。ただやはりウエイトの影響もありましたし、まわりも速かったですね」と鈴木。予選へのセットアップはやや苦しかったが、ロングランでトライしたレースペースには良い手ごたえを得ることになった。

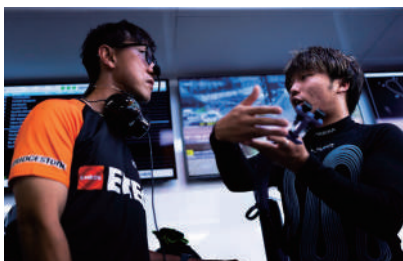
ふたたび ENEOS X PRIME AMG GT3 に乗り込んだ石浦は、8周を走りピットに戻ったが、「かなり厳しい戦いになると思いま

すし、全体的に苦戦してはいますが、まずは予選でランキング上位のライバルを上回りたいですね」と午後の公式予選、そして決勝に向けて石浦は語った。



QUALIFY 公式予選

8月22日(土) 天候:晴れ/路面:ドライ



公式練習から厳しい暑さとなっていた鈴鹿サーキットだが、午後になってもその暑さは変わらず、晴天のもと気温 34 度/路面温度 46 度というコンディションで午後 3 時 30 分から公式予選が始まった。

午前の公式練習からタイムに伸び悩んでいた ENEOS X PRIME AMG GT3 は、鈴木斗輝哉のスピードに託し公式予選 Q2 進出を目指した。

鈴木はじっくりとタイヤをウォームアップさせ、5 周目にアタックラップに入っていく。最終コーナーをインベタでクリアし、タイムを稼いでいった鈴木が記録したタ

イムは 1 分 59 秒 057。Q2 進出までわずか 0.148 秒足りず 12 番手で、公式予選総合では 23 番手という位置となった。

「そんなにうまくはいかないですね。でも逆に伸びしろがたくさんあるということだと思いますし、この苦しい状況のなかで、どれだけ結果を得られるかが僕たちに求められることだと思います」と鈴木は前を向いた。第 1 戦では難しい表情をしていた鈴木にとっても、成長の糧となる公式予選となった。逆に、決勝では追いつけるだけだ。TEAM ENEOS ROOKIE はシンプルになった目標へ向け気持ちを切り替えていった。

RACE 決勝レース

8月23日(日) 天候:晴れ/路面:ドライ

公式予選から一夜明け、迎えた 8 月 23 日(日)の決勝日。鈴鹿サーキットはこの日も気温が高く、気温 34 度/路面温度 49 度というコンディションのもと午後 1 時 30 分に決勝レースの火ぶたが切って落とされた。直前のウォームアップ走行まで使って ENEOS X PRIME AMG GT3 はセットアップを煮詰め、鈴木をスタートドライバーに据え 23 番手からの追いつきを期した。

前日の公式予選の後、チームメンバーの前に「どんどん抜いていきたい」と力強く語っていた鈴木は、その宣言どおり 1 周目の混戦のなか、3 ポジションアップを果たしさっそく公約を果たしてみせる。ただ、序盤の混戦が落ち着き出すと、ENEOS X PRIME AMG GT3 の前を走っていた 3 台の GT-R 勢を前になかなかオーバーテイクには至らず。順位をキープしながらレースを進めていくことになった。

しかし、今回 ENEOS X PRIME AMG GT3 は下位グリッドからの追いつきを期し、ピットインを遅らせ空いたスペースを走る

オーバーカット、さらにタイヤ二輪交換でピット時間を短縮する作戦を組んでいた。無理なオーバーテイクができないことを理解した鈴木は、しっかりと燃料とタイヤをキープすることに切り替えることに。16 周目に

NIPPO コーナーでストップ車両が発生したことによるフルコースイエローが導入された後、アンダーカットを狙うライバルたちがピットに向かっていくと、クリアになったスペースを活かしコンスタントなペースで順位を上げていった。途中、130R でコースアウトしてしまうシーンもあったが、幸い無傷でコースに復帰。30 周を終えて大役を果たし、ピットに戻った。

TEAM ENEOS ROOKIE のクルーは迅速な作業でフロント二輪交換を行い、石浦にステアリングを託しピットアウトする。もし序盤にセーフティカーが出ていたらレースを失うリスクがある作戦だったが、見事に成功し、14 番手につけポイント圏内への浮上を果たした。

石浦は #11 フェアレディ Z の先行こそ許したが、後続をきっちり抑えレース終盤に入っていく。すると、ペナルティやアクシ



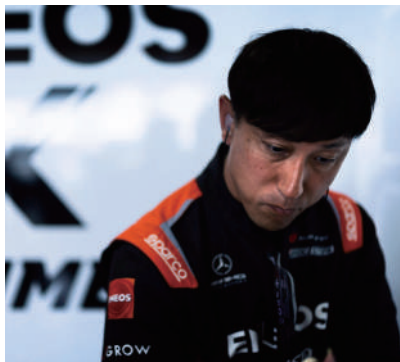
デント、トラブルと上位陣が後退してしてしまう。これで ENEOS X PRIME AMG GT3 は少しずつ順位を上げ、42 周目に 2 番手だった #60 LC500 がピットインすると、ついに 10 番手まで浮上した。

直後、上位を争っていた #52 GR Supra が 130R でクラッシュしてしまい、レースはフルコースイエローからセーフティカーとなる。このままレースは再開されることなく、ENEOS X PRIME AMG GT3 は 23 番手から大きくジャンプアップしての 10 位フィニッシュを飾ることになった。

公式練習での苦境から、チーム全員がアイデアを出し合い、大きく順位を上げることになったこの第 5 戦は、表彰台を獲得した第 4 戦よりも大きなものをチームにもたらした。シーズンはこれから後半戦。TEAM ENEOS ROOKIE は、まだまだ一歩ずつ成長を続けていく。



VOICE ドライバー／GM／監督コメント



Hiroaki ISHIURA DRIVER 石浦宏明

「予選 23 番手から 10 位まで上がることができましたが、『粘り強くレースを戦おう』というコンセプトで、失うものはないという作戦を考えてレースに臨みました。結果的に、セーフティカーのリスクを負ってでもピットインを遅らせようという作戦に出ましたが、それが成功しましたね。フロントタイヤのみ二輪交換という戦略もうまくいきました。それを見据えたセットアップをすることもでき、最後にセーフティカーに助けられたとも思います。今回望みうる最上位でレースを終えることができたのではないのでしょうか。1 年目のチームですが、ミスなく団結して、想定どおりにレースができたと思います。決勝に向けたセット変更も含め、今後に繋がる意味のあるレースにできたと思います」



Tokiya SUZUKI DRIVER 鈴木斗輝哉

「スタートから混戦で、位置取りのなかで何台か抜くことはできたのですが、集団が少しずつ離れてきたときには、前を走る集団を抜くことになり苦労しました。しかしそんな中で燃料をセーブし、フロントも厳しそうだったので労ったりと、ラップタイムを落とさないようにしながら考えて走っていきました。途中、130R でコースアウトしてしまったこともあったのでチームの皆さんに申し訳ないと思いますが、結果的に 23 番手から 10 位に上がり、こんなにたくさんのポイントを得られたのはうれしく思います。こうして強いレースができたので、チームの皆さん、石浦さんに感謝したいです。こういう苦しいレースウィークで石浦さんから学ぶことも多かったので、次戦や今後の未来に繋げていきたいです」



Yutaka YAMAMURA GENERAL MANAGER 山村豊

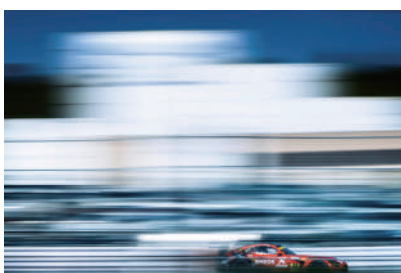
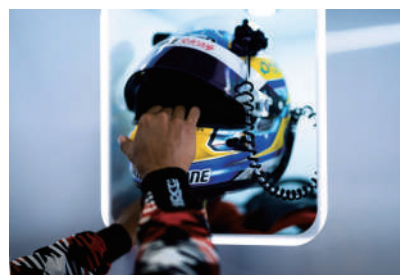
「夏休みということもあり、たくさんのスポンサーの皆さんやファンの皆さんがいらっしゃっていましたが、その前で皆さんの期待を超える結果を残すことができたのをうれしく思っています。予選は今季いちばん下の順位になってしまいましたが、そこから這い上がるチャレンジ、そしてサクセスウエイトに対しての戦い方と、またひとつ経験を積むことができた。非常に大きなことだったと思いますし、10 位という素晴らしい結果を残すことができたのは、チーム全員の頑張りの結果だったのではないかとと思っています。次戦はさらにサクセスウエイトも加わりますし、狭いサーキットなので予選順位が大事になりますが、我々ができる等身大の力で、皆さんの期待を超えていきたいと思っています」



Toshiyuki SEKIYA DIRECTOR 関谷利之

「エンジニアが『想定どおりではなかった』と言っていたのですが、我々としては SUPER GT に対して経験が足りないということなので『勉強した』ということだと思っています。言い方は悪いですが真似てみたり、決勝の前にも大きく変えてみたりと、最後までやった結果が 10 位に繋がったと思います。またミスがなかったことも大きいですね。今回はちゃんと自分たちが持てる力を出すことができたと思いますし、展開で順位を上げられたとはいえ、這い上がってこられたので、一歩ずつ強くなっていくのを感じられました。第 4 戦の 2 位も良かったですが、それを超える内容の濃さだったと思いますね。また次に向けてみんなで考えていきたいですし、頑張っていきたいと思っています」

PHOTO GALLERY フォトギャラリー



RESULT リザルト一覧

2026 AUTOBACS SUPER GT ROUNDS
SUZUKA GT 300KM RACE
 8.22(土)23日
 SUPER GT
 1-2

GT300 OFFICIAL PRACTICE 2026 / 8 / 22 / 12:15

SUZUKA CIRCUIT Full Course 4 Laps (3.071km) Weather: Fine Track: Dry

Pos.	No.	Car/Team	BestTime	Diff	Gap	DriverName	BestTime	Lap	Lap Speed
16	50	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 REAL RACING RACING CHALLENGE GT-R	1:59.230	0.680	0.083	Joao Paulo Lima de Oliveira Iori Kimura	1:59.230	8 / 13	179.338
17	29	Nissan Fairlady ZR234 ANEST IWATA GAINER Z	1:59.298	0.748	0.068	Hironobu Yasuda Leo Jungo	1:59.298	13 / 14	175.235
18	31	LEXUS LC500H R2W100 apr LC500H GT	1:59.480	0.940	0.192	Kazuto Kotaka Miki Koyama	1:59.480	8 / 10	174.366
19	777	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 Dration Vantage GT3	1:59.520	0.970	0.030	Tomonobu Fuji Charlie Fagg	1:59.520	8 / 8	179.323
20	4	Mercedes AMG GT3 R35 GOODSULE HATSUNE MKU AMG	1:59.544	0.994	0.024	Nobutaru Taniguchi Tatsuya Katada	1:59.544	7 / 9	174.874
21	48	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 HEDOS K'S FRONTIER WM NLZZ GT-R	1:59.730	1.160	0.192	Takao Iida James Puli	2:00.786	10 / 11	170.257
22	62	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 HELM MOTORSports GT-R	1:59.799	1.249	0.063	Yuya Hiraki Reiji Hiraki	1:59.799	11 / 12	174.502
23	5	TOYOTA GR Supra DB42 HOPPY SCHULTZ GR Supra GT	1:59.840	1.299	0.050	Yusuke Shibusaki Souia Aris	1:59.840	8 / 10	174.420
24	360	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 RUNUP + SOL GT-R	1:59.912	1.362	0.063	Rin Andou Yu Karamura	1:59.912	9 / 11	174.337
25	65	Mercedes AMG GT3 R35 LEON PYRAMD AMG	1:59.955	1.405	0.043	Nagya Gennu Togo Suganami	1:59.955	8 / 13	174.275
26	52	Mercedes AMG GT3 R35 ENEOS X PRIME AMG GT3	2:00.305	1.705	0.360	Hiroaki Ishihara Takiya Suzuki	2:00.305	5 / 14	173.768
27	30	LEXUS RC F GT3 SHADE RACING RC F GT3	2:00.380	1.830	0.075	Katsuyuki Hirawaka Eijiro Shimizu	2:00.380	8 / 9	173.680
28	22	Mercedes AMG GT3 R35 RGS AMG GT3	2:00.728	2.178	0.348	Masaki Kano Hiroshi Wada	2:00.728	7 / 16	173.159
29	58	LAMBORGHINI HURACAN GT3 E VENTENY LAMBORGHINI GT3	2:12.354	13.804	11.828	Takashi Kogoro David Krysz	2:12.354	4 / 6	157.948

Start Time: 9:45:00 Finish Time: 11:20:00
 Red Flag: 1:10:00:59 ~ 1:10:17:00 2:10:22:00 ~ 10:45:00
 FCY: 1:10:22:00 ~ 1:10:45:00

* CarNo. 65 (12:02) 試験 (SUPER-GT 50R 3027高4) (作) 作業中車庫直戻 (安全な1ラップ後直戻) ()

Chief Timekeeper: Hiroyuki Takai
 Clerk of the Course: Norio Miyazawa
 Chief Steward: Masao Mizuno

高井浩至 宮城知大 水野雅男

Series Title Sponsor... Series Partner... Series Sponsor...

2026 AUTOBACS SUPER GT ROUNDS
SUZUKA GT 300KM RACE
 8.22(土)23日
 SUPER GT
 8-2

GT300 QUALIFYING 2026 / 8 / 22 / 13:45

SUZUKA CIRCUIT Full Course 4 Laps (3.071km) Weather: Sunny Track: Dry

Pos.	No.	Car/Team	DriverName	Q2Time	Lap	Q1Time	Lap
19	62	A NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 HELM MOTORSports GT-R	Yuya Hiraki Reiji Hiraki	1:58.914	3 / 5		
20	6	B FERRARI 296 GT3 EVO296 GT3 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI	Yoshiaki Katsuyama Niklas Krutten	1:58.397	5 / 5		
21	48	A NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 KENZO K'S FRONTIER WM NLZZ GT-R	Takao Iida James Puli	1:58.089	4 / 5		
22	606	B PORSCHE 911 GT3 R EVO3 (R35) seven + seven PORSCHE GT3 R EVO	Ben Muller Tachii Watanabe	1:58.508	4 / 5		
23	32	A Mercedes AMG GT3 R35 ENEOS X PRIME AMG GT3	Hiroaki Ishihara Takiya Suzuki	1:58.897	5 / 5		
24	2	B TOYOTA GR Supra DB42 HYPER WATER INGSING GR Supra	Yuya Shibusaki Kazuya Ueda	1:58.719	3 / 4		
25	26	A Nissan Fairlady ZR234 ANEST IWATA GAINER Z	Hironobu Yasuda Leo Jungo	1:59.099	5 / 5		
26	31	B LEXUS LC500H R2W100 apr LC500H GT	Kazuto Kotaka Miki Koyama	1:58.987	4 / 5		
27	25	A TOYOTA GR Supra DB42 HOPPY SCHULTZ GR Supra GT	Takamitsu Matsui Ryota Horaki	1:58.155	4 / 4		
28	30	B LEXUS RC F GT3 SHADE RACING RC F GT3	Katsuyuki Hirawaka Eijiro Shimizu	1:59.304	4 / 5		
29	22	A Mercedes AMG GT3 R35 RGS AMG GT3	Masaki Kano Hiroshi Wada	2:00.558	5 / 5		

Q1Gr: Start: 15:30:00 Finish: 15:40:00 / Q1Gr: Start: 15:40:00 Finish: 15:50:00 / Q2: Start: 16:23:00 Finish: 16:30:00

(主催外走行により予備としたラップタイム)
 Q1A: CarNo. 60: 1:57:48.45

* CarNo. 45 (16:36) 罰金 30,000円 (SUPER-GT GTA 75% No. 306-5 「ペナルティ」違反) (違反) ()

Chief Timekeeper: Hiroyuki Takai
 Clerk of the Course: Norio Miyazawa
 Chief Steward: Masao Mizuno

高井浩至 宮城知大 水野雅男

Series Title Sponsor... Series Partner... Series Sponsor...

2026 AUTOBACS SUPER GT ROUNDS
SUZUKA GT 300KM RACE
 8.22(土)23日
 SUPER GT
 3

GT300 QUALIFYING 1A Gr. 2026 / 8 / 22 / 14:15

SUZUKA CIRCUIT Full Course 4 Laps (3.071km) Weather: Sunny Track: Dry

Pos.	No.	Car/Team	BestTime	Diff	Gap	DriverName	BestTime	Lap	Lap Speed
1	777	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 Dration Vantage GT3	1:57.324			Tomonobu Fuji Charlie Fagg	1:57.324	4 / 5	175.193
2	30	TOYOTA GR Supra DB42 apr GR Supra GT	1:57.780	0.456		Hiroaki Nagai Hiroki Taira	1:57.780	3 / 5	177.493
3	60	LEXUS LC500H R2W100 Symposium LMORA LCO50 GT	1:57.870	0.546		Hiroki Yoshimoto Shunroku Kohno	1:57.870	5 / 5	177.207
4	56	LEXUS RC F GT3 K-sunae RC F GT3	1:58.379	0.955	0.308	Moto Hata Shoichi Takagi	1:58.379	3 / 3	176.744
5	50	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 REAL RACING RACING CHALLENGE GT-R	1:58.467	1.143	0.188	Joao Paulo Lima de Oliveira Iori Kimura	1:58.467	4 / 5	176.494
6	18	Mercedes AMG GT3 R35 UPORANGE AMG GT3	1:58.473	1.149	0.006	Takashi Kobayashi Kotaro Shimbara	1:58.473	5 / 5	176.455
7	5	TOYOTA GR Supra DB42 HOPPY SCHULTZ GR Supra GT	1:58.617	1.293	0.144	Yusuke Shibusaki Souia Aris	1:58.617	4 / 5	176.241
8	52	TOYOTA GR Supra DB42 Green Drive GR Supra GT	1:58.673	1.349	0.056	Hiroki Yoshida Sella Norikazu	1:58.673	3 / 4	176.158
9	4	Mercedes AMG GT3 R35 GOODSULE HATSUNE MKU AMG	1:58.909	1.585	0.236	Nobutaru Taniguchi Tatsuya Katada	1:58.909	5 / 5	175.608

***** 12.2 Q2: 12:02 *****

10	62	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 HELM MOTORSports GT-R	1:58.914	1.590	0.005	Yuya Hiraki Reiji Hiraki	1:58.914	3 / 5	175.800
11	48	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 HEDOS K'S FRONTIER WM NLZZ GT-R	1:58.989	1.665	0.075	Takao Iida James Puli	1:58.989	4 / 5	175.690
12	32	Mercedes AMG GT3 R35 ENEOS X PRIME AMG GT3	1:59.057	1.733	0.068	Hiroaki Ishihara Takiya Suzuki	1:59.057	5 / 5	175.569
13	29	Nissan Fairlady ZR234 ANEST IWATA GAINER Z	1:59.259	1.735	0.092	Hironobu Yasuda Leo Jungo	1:59.259	5 / 5	175.508
14	25	TOYOTA GR Supra DB42 HOPPY SCHULTZ GR Supra GT	1:59.155	1.831	0.086	Takamitsu Matsui Ryota Horaki	1:59.155	4 / 4	175.445
15	22	Mercedes AMG GT3 R35 RGS AMG GT3	2:00.558	3.234	1.403	Masaki Kano Hiroshi Wada	2:00.558	5 / 5	173.403

Start Time: 15:30:00 Finish Time: 15:40:00
 (主催外走行により予備としたラップタイム)
 CarNo. 60: 1:57:48.45

Chief Timekeeper: Hiroyuki Takai
 Clerk of the Course: Norio Miyazawa
 Chief Steward: Masao Mizuno

高井浩至 宮城知大 水野雅男

Series Title Sponsor... Series Partner... Series Sponsor...

2026 AUTOBACS SUPER GT ROUNDS
SUZUKA GT 300KM RACE
 8.22(土)23日
 SUPER GT
 14-1

2026 AUTOBACS SUPER GT Round5 SUZUKA GT 300KM RACE 2026 / 8 / 23 / 17:54

SUZUKA CIRCUIT Full Course 4 Laps (3.071km) Weather: Sunny Track: Dry

Pos.	No.	Car/Team	Lap	TotalTime	Diff	Gap	DriverName	Lap	BestTime
1	777	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 PACIFIC UNIMUJIME NAC-SAW	24	1:57:15.525			Yusuke Tomihayashi Yuta Fujiwara	24	1:58.460
2	1	FERRARI 296 GT3 EVO296 GT3 CARVUP Ferrari 296 GT3	31	1:47:20.805	4.420	4.420	Zak O'Sullivan Kyoichi Umegaki	31	1:59.624
3	18	Mercedes AMG GT3 R35 UPORANGE AMG GT3	26	1:47:23.147	6.621	2.162	Takashi Kobayashi Kotaro Shimbara	26	1:59.961
4	777	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 Dration Vantage GT3	16	1:47:24.089	7.563	0.942	Tomonobu Fuji Charlie Fagg	16	2:00.255
5	56	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 REAL RACING RACING CHALLENGE GT-R	27	1:47:27.390	11.224	3.661	Joao Paulo Lima de Oliveira Iori Kimura	27	1:58.413
6	58	LAMBORGHINI HURACAN GT3 E VENTENY LAMBORGHINI GT3	25	1:47:28.237	11.711	0.487	Takashi Kogoro David Krysz	25	1:55.632
7	360	NISSAN GT-R NISMO GT3 R35 RUNUP + SOL GT-R	20	1:47:29.362	12.836	1.125	Rin Andou Yu Karamura	20	1:59.664
8	5	TOYOTA GR Supra DB42 HOPPY SCHULTZ GR Supra GT	31	1:47:33.150	16.624	3.769	Yusuke Shibusaki Souia Aris	31	2:00.147
9	11	Nissan Fairlady ZR234 GAINER TANAKA Z	16	1:47:33.767	17.241	0.617	Pyckito Tomita Kazuki Oh	16	2:00.270
10	32	Mercedes AMG GT3 R35 ENEOS X PRIME AMG GT3	30	1:47:37.089	20.563	3.322	Hiroaki Ishihara Takiya Suzuki	30	2:00.981
11	31	LEXUS LC500H R2W100 apr LC500H GT	17	1:47:43.860	27.136	6.573	Kazuto Kotaka Miki Koyama	17	2:01.436
12	30	TOYOTA GR Supra DB42 apr GR Supra GT	16	1:47:44.839	28.413	1.277	Hiroaki Nagai Hiroki Taira	16	2:01.548
13	60	LEXUS LC500H R2W100 Symposium LMORA LCO50 GT	18	1:47:45.500	29.029	6.626	Hiroki Yoshimoto Shunroku Kohno	18	2:00.143
14	606	PORSCHE 911 GT3 R EVO3 (R35) seven + seven PORSCHE GT3 R EVO	32	1:47:48.997	30.071	1.032	Ben Muller Tachii Watanabe	32	1:59.882
15	45	FERRARI 296 GT3 EVO296 GT3 POMOS FERRARI 296 EVO	21	1:47:48.021	31.485	1.424	Takuro Shinohara Shintaro Kawabata	21	2:00.288
16	25	TOYOTA GR Supra DB42 HOPPY SCHULTZ GR Supra GT	21	1:47:48.914	30.388	1.893	Takamitsu Matsui Ryota Horaki	21	2:00.878
17	65	Mercedes AMG GT3 R35 LEON PYRAMD AMG	31	1:47:51.888	35.162	1.774	Nagya Gennu Togo Suganami	31	2:00.062
18	6	FERRARI 296 GT3 EVO296 GT3 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI	18	1:47:52.554	36.058	0.886	Yoshiaki Katsuyama Niklas Krutten	18	2:01.337

Continue

Series Title Sponsor... Series Partner... Series Sponsor...

2026年 SUPERGT ランキング 石浦宏明: 9位 (36ポイント) 鈴木斗輝哉: 13位 (26ポイント) 小林可夢偉: 24位 (10ポイント)
 TEAM ENEOS ROOKIE: 8位 (48ポイント)

ROOKIE RACING

SUPER GT
GT300 / TEAM ENEOS ROOKIE

Our activities are supported by all partners

ROOKIE Racing の活動は、多くの皆さまのご協力によって支えられています

ENEOS

aisin

さあ、街から未来をかえよう
三井不動産
MITSUI FUDOSAN

ThreeBond

docomo Business

MITSUI & CO.

HAYASHI
TELEMPU

いつもさいしよ、アタラシイコト。
NIITEC
Creative Power

NSK

SMBC

KINTO

asics

チョコモナカ
ジャンボ



ENKEI

ENDLESS
Challenge to the Future